



このたびは、当製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

**ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**

この取扱説明書はお読みいただいた後も、すぐに取り出せるように大切に保管してください。

また、「取扱説明書」のなかでご不明な点や疑問点がございましたら、

有限会社 折秋(0479-82-0438)までお問い合わせください。

この取扱説明書については将来予告なしに変更することがあります。

# ULTRA P-60

## 6オンス ポップコーンマシン



# もくじ

---

1. 安全上のご注意	P2 - P6
2. 各部名称	P7
3. 準備	P8 - P9
4. スイッチ	P10
5. 使用方法	P11
5. お手入れ方法	P12 - P13
6. 保証とアフターサービス	P14

# 安全上のご注意 - お客様にお守りいただく事項 -

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前にこの安全上のご注意をよくお読みいただいたうえ、正しくご使用ください。

◆表示の内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度に応じて次のように区分して説明しています。

**危険**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合を示しています。

**警告**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う頻度が高い場合を示しています。

**注意**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、傷害を負う危険ならびに物的損害の発生が想定される場合を示しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で区分して説明しています。(下記図記号は一例です。)



この図記号はしてはいけない「禁止」の内容です。



この図記号はしなければならない「強制」の内容です。

## 危険

<p><b>適正な(指定された)電源の仕様以外は使用しない</b> ※適正な(指定された)電源以外を使用すると故障の原因となります。</p>	
<p><b>漏電に気がついたらすみやかに使用を中止すること</b> ※ブレーカーを切り、弊社(048-222-1171)までお問い合わせください。</p>	
<p><b>スイッチ穴やすきまにもものを入れない</b> ※すきまにピンや針金などの金属を入れると感電や異常動作して怪我をする恐れがあります。</p>	
<p><b>壁との間は開けておく</b> ※可燃構造壁の場合、近すぎると壁などが異常に過熱され発火、火災になる恐れがあります。</p>	
<p><b>工事完了まで元電源(ブレーカー)は入れない</b> ※電気工事の処理が完了するまでは元電源(ブレーカー)のON/OFFは行わないでください。</p>	

## 警告

<p><b>有資格者による設置工事</b> ※不備があると故障・火災の原因となります。 設置・移動による再設置のときは弊社(048-222-1171)までお問い合わせください。</p>	
<p><b>機器は安全性の高い、丈夫で水平な不燃構造の上に設置する</b> ※不安定な場所や傾いた所に設置しますと機器が傾いて故障の原因となります。</p>	
<p><b>水を使用する機器はそばに設置しない</b> ※水が機器にかかりますと大変危険です。周りに水を使用する機器を設置しないでください。</p>	
<p><b>部品の取り付け、取り外しやお手入れはスイッチを切り、元電源(ブレーカー)を切る、または電源プラグをコンセントから抜く</b></p>	
<p><b>お手入れや点検の時は元電源(ブレーカー)を切る、または電源プラグをコンセントから抜き、機器が十分冷めてから行うこと</b> ※誤作動による怪我をする恐れがあります。機器が高温のうちに触れますとやけどする恐れがあります。</p>	
<p><b>使用中は機器のそばから離れない</b> ※思わぬ怪我や事故の原因となります。</p>	
<p><b>機器設置後はご自分で機器周辺の改装をしない</b></p>	

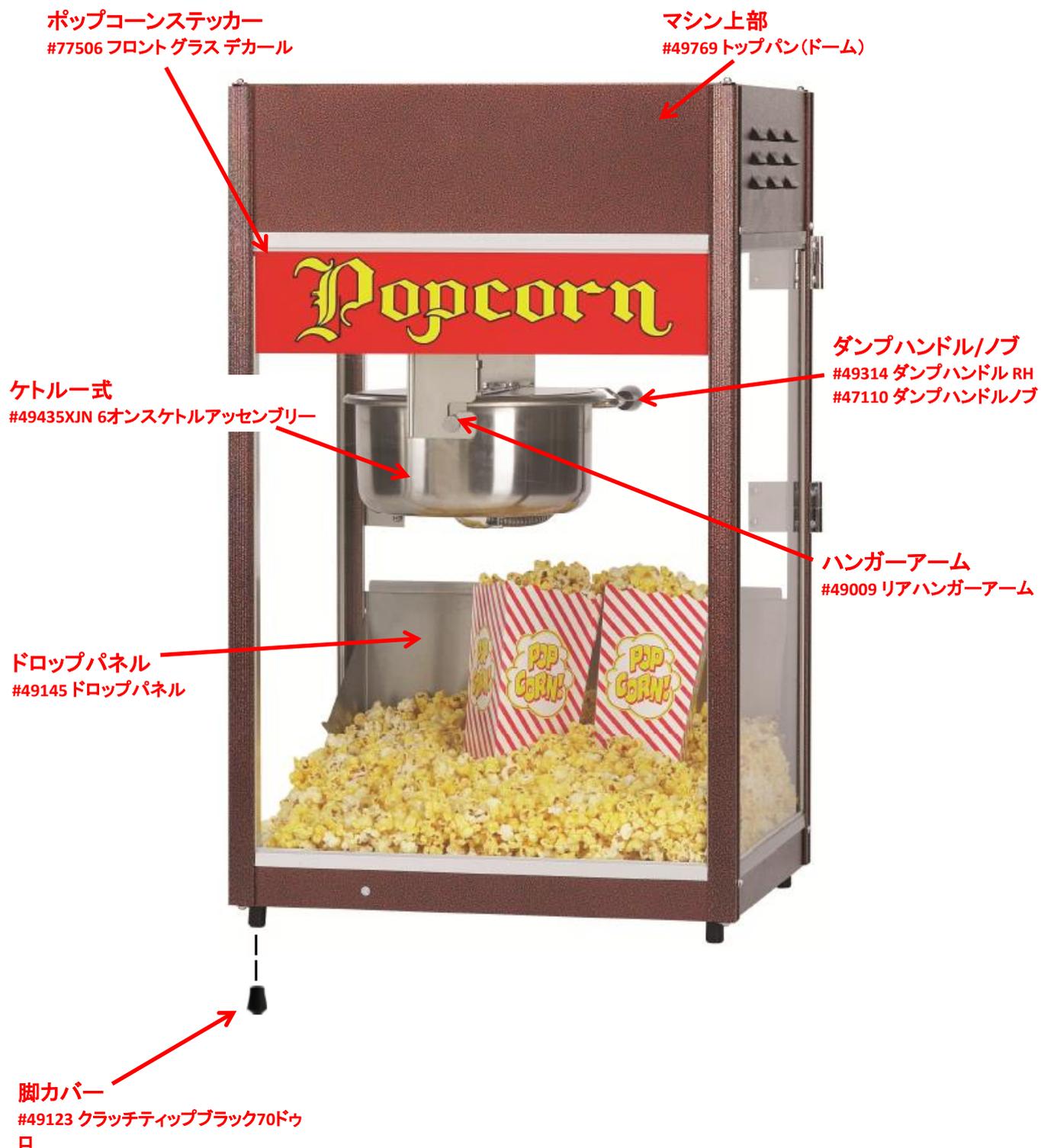
<p><b>建設基準法、各地域の条例、消防法、「電気設備に関する技術基準」等に従って設置、工事をする</b>  <small>※不備があると感電、火災の原因となります。</small></p>	
<p><b>この機器は屋内仕様です。屋外に設置しない</b>  <small>※機器の故障の原因となります。</small></p>	
<p><b>スプレー缶や燃えやすいもの、揮発性、引火性のあるものを近くに置いたり、使用しない</b></p>	
<p><b>アースを確実に取り付けておくこと</b>  <small>※アースを取り付けずに使用すると、故障や漏電した時に感電する恐れがあります。アースは、水道管、ガス管、避雷針、電話専用アース線には「絶対に」取り付けないでください。</small></p>	
<p><b>機器モーター部に直接水をかけない</b>  <small>※機器の故障の原因になります。</small></p>	
<p><b>排水溝の上など、湯気があがる場所には設置しない</b></p>	
<p><b>異常に気がついた時や地震、火災の時は使用を中止し、元電源(ブレーカー)を切る</b>  <small>※異臭や異常音を感じた時や、地震、火災の時は「電源スイッチ」をOFFにして使用を中止し、元電源(ブレーカー)を切ってください。そのまま使用しますと故障や感電、火災、怪我の原因となります。</small></p>	
<p><b>使用中は必ず部屋の換気をする</b>  <small>※機器からは熱気がでます。換気することでこれらを屋外へ排出し、室内空気の汚染を防ぎます。</small></p>	
<p><b>未成年者には使用させない</b>  <small>※やけどやけがの恐れがあります。</small></p>	
<p><b>清掃を怠らない</b>  <small>※清掃不備により機器内に溜まったカスやゴミが燃えて火災の原因となります。また、機器が錆びる恐れがあります。ステンレスを使用している機器でも周囲の環境や使用状況、清掃不備等の原因で錆びることがあります。</small></p>	
<p><b>運転中に材料以外のものを入れない</b>  <small>※怪我や異物混入の原因となります。</small></p>	
<p><b>自分で絶対に分解や修理、改造をしない</b>  <small>※火災、感電、けがの原因となります。修理は弊社(0479-82-0438)までご相談ください。</small></p>	

## 注意

<p style="text-align: center;"><b>電源コードを加工したり無理な力を加えない</b></p> <p>※電源コードを傷つける、はさみ込む、加工する、ねじる、無理に曲げる、束ねるなどしますと、電源コードは破損し、火災、感電の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>電源コードは高温部の近くを通さない</b></p> <p>※温度の高い本体の近くを通しますと、電源コードの被覆が破れて感電、漏電の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>電源は専用電源を使用する</b></p> <p>※電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用およびタコ足配線したりしないでください。感電や発熱、火災の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>濡れた手で電気部分に触れたり電気スイッチを操作しない</b></p> <p>※感電の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>振動、衝撃の多い場所には設置しない</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>漏電遮断機を取り付ける</b></p> <p>※感電防止のために漏電遮断機などを取りつけてください。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>電気コード等に油が飛散しない場所に設置する</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>傷んだ電源コードは使用しない</b></p> <p>※感電、ショート、発火の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>部品が破損している場合は、そのまま使用せず新しいものと交換する</b></p> <p>※異物混入や怪我の原因となります。部品は使用するに従い経年劣化するものです。定期的に点検、交換していただく必要があります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>車両、船舶での使用はしない</b></p> <p>※使用中に機器が傾いたりした場合、火災や怪我、事故の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>使用中、使用直後は操作部以外は触れない</b></p> <p>※使用中、使用直後の機器は高温になっていますので、触れるとやけどをする恐れがあります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>調理以外の目的で使用しない</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>特殊薬品(アンモニア、塩素、酸類等)や、その蒸気のある場所には設置しない</b></p> <p>※薬品が機器を腐食させたり、作業者の健康を害する原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>熱に弱いものは近くに置かない</b></p> <p>※変色や変質の恐れがあります。</p>	

<p style="text-align: center;"><b>投入口に顔や手を近づけない</b> ※投入口から出る排気熱でやけどの恐れがあります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>水のかかりやすい場所や湿気の多い場所には設置しない</b> ※部品の故障や漏電の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>適正な設定温度で行う</b> ※過度な温度や時間で使用すると故障の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>機器点検のためのメンテナンススペースを設ける</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>棚の下など落下物の危険のある場所には設置しない</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>汚れたまま使用しない</b> ※機器内部のカスやゴミで汚れたまま使用しますと火災の原因となります。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>長時間ご使用にならない場合は、元電源(ブレーカー)を切る</b> ※ほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。 常用的に使用している場合でも定期的にほこりなどが電源接続部にたまっていないか確認してください。</p>	

# 各部名称



# 準備

機器お取扱い前に必ず本書をよく読み、本書に従って作業をおこなってください。

## 出荷点検

梱包を解きましたら、運送中の損傷がないかご確認ください。  
もし何かお気付きの点がございましたら、すぐに弊社までご連絡ください。

## マシン準備

★準備中はプラグがコンセントに接続されていないか、スイッチがOFFになっているかご確認ください★

1. 梱包を全て解き、水平で丈夫な場所へ設置してください。
2. 脚部分4ヶ所に脚カバーをはめてください。



3. 付属品内にありますノブをアクリル扉、オールドメイドパンの引き出し部に取り付けてください。
4. キャビネット内に電球を取り付けてください。(きつく締めすぎないように気をつけてください。)
5. ケトルについている、ケトルリードインコードをキャビネット内のコンセントに接続してください。接続したら回してロックしてください。



5. 設定完了後、使用前には必ずマシンを清掃、消毒してからご使用ください。

## 定格電源、設置

下記の電源をご用意ください。

100ボルト 1220W 50/60Hz

※電気技術者に必要な電源をお伝えしご用意ください。

プラグを差し込む前にスイッチがOFFになっているか確認してください。

コンセント部がアース接続できるようになっているか確認してください。

※アース接続が出来ないコンセントは使用しないでください。



### アースを確実に取り付けておくこと

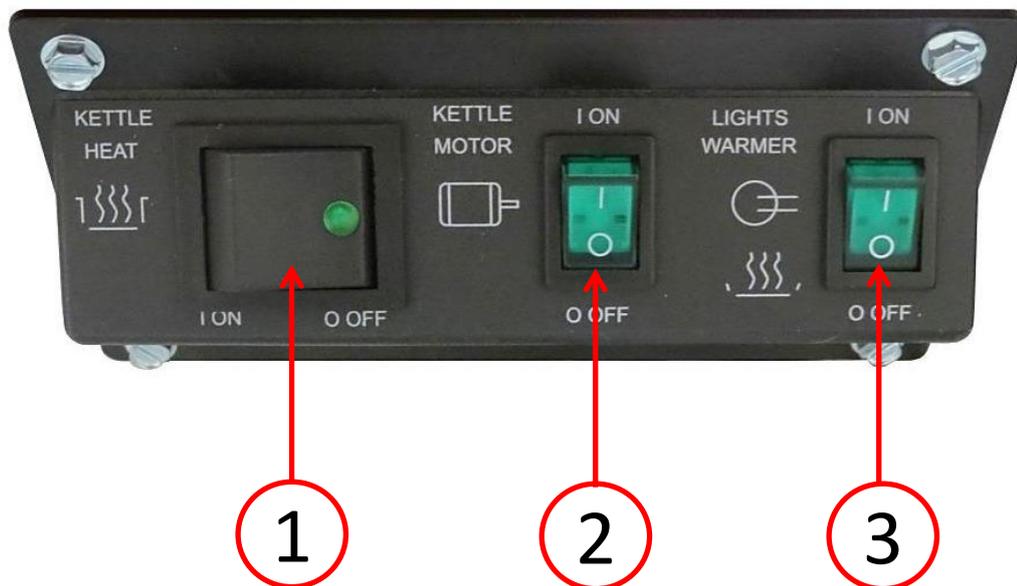
※アースを取り付けずに使用すると、故障や漏電した時に感電する恐れがあります。

アースは、水道管、ガス管、避雷針、電話専用アース線には「絶対に」取り付けしないでください。

水平な場所にマシンを設置してください。

# スイッチ

※スイッチがONの時、緑色のライトが点灯します。



1. ケトルヒートスイッチ  
ONの時、ケトルが温まります。
2. ケトルモータースイッチ  
ONの時、ケトルアジテーターが回ります。  
※ケトル内にコーンがある時は常にONにしておいてください。
3. ライト/ウォーマースイッチ  
ONの時、キャビネット内のライトが点灯し、コーンパンが温まります。

# 使用方法

## ※推奨分量

	ポップコーン豆	ココナッツオイル	フレーバー
塩(フレーバーコール)	170	25g	8g
キャラメル(キャラメルグレース)	170	60g	150g

1. プラグを差し込みケトルヒータースイッチ、ケトルモータースイッチ、ライト/ウォーマースイッチをONにします。  
※ONにすると緑色に点灯します。
2. ケトルの余熱状態を確かめる為、試し弾きをおこなってください。ケトルの蓋を開けて、オイルを分量通り入れます。その後、ポップコーン豆を数粒(3~4粒)入れ、蓋を閉めてください。ポップコーンが弾けたら余熱完了です。  
※冷えた状態からですと、ケトルヒータースイッチを入れてから、4分くらいかかります。  
マシンが冷えた状態の時のみ試し弾きをおこなってください。連続稼働の時は試し弾きする必要はありません。
3. ケトルの蓋を開けてポップコーン豆とフレーバーを分量通り入れ蓋を閉めてください。
4. ポップコーンが弾け始めたらケトルヒータースイッチをOFFにしてください。  
※ケトルからオイル等飛ぶことがありますのでご注意ください。  
ケトルヒータースイッチをONにしたまま続けるとポップコーンが焦げることがあります。
5. ポップコーンが弾け終わったら(ポップコーンが弾ける音間隔が長くなったら)ダンプハンドルを掴み、ケトルを下方に返し、中のポップコーンを全て出してください。  
※ポップコーン等が飛んできることがありますので十分注意してください。  
ケトルの中にポップコーンが残っている場合割り箸等使用し、かき出してください。残ったままですと焦げることがあります。
6. マシン付属のスコップで弾き損じの豆等をコーンパンの下にふるい落としとして完成です。
7. 連続で作成する場合はオイルを入れ、3~4の過程を繰り返してください。
8. 最後のポップコーンを弾き終わったら、ケトルヒータースイッチとケトルモータースイッチを確実にOFFにしてください。

**★ポップコーン作成中以外はケトルヒータースイッチとケトルモータースイッチを確実にOFFにしてください！**

# お手入れ方法

事故や火傷などの可能性があります。下記の警告を必ず守ってください。

**警告** 必ず電源を抜いてから行ってください。

**警告** 稼働中にお手入れを開始しないでください。

※機器お取扱い前に必ず本書をよく読み、本書に従って作業をおこなってください。  
いつも清潔な状態に保つため、使用のたびにお手入れをおこなってください。

下記のものを使用しないでください：

ベンジン、シンナー、漂白剤、酸性・アルカリ性洗剤、金属たわしを使用しないでください。

※塗装のはがれ、傷つき、変色、内部に液が浸透し故障の原因となります。

ケトルは決して水洗いをしないで下さい。

※故障の原因となります。

ケトルは大変熱くなっておりますので、火傷予防の為下記のような耐熱グローブ等を使用してください。



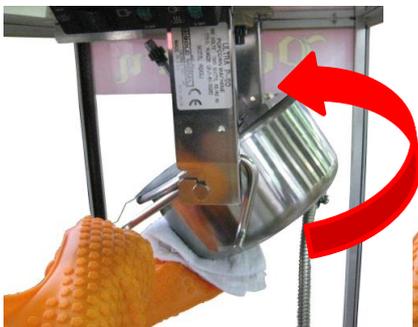
※火傷予防の為、冷めてから清掃することもできます。  
その際は、汚れが落ちにくいので熱めのお湯で濡らし、固く絞ったタオルを使用し清掃してください。

1. 全てのスイッチがOFFになっているか確認し、プラグを抜いてください。

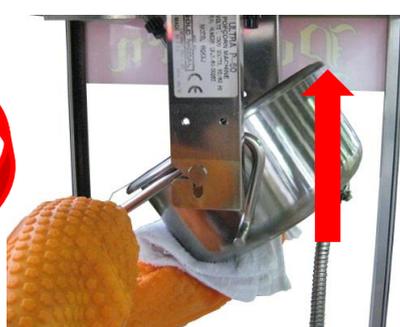
2. ケトルを斜めに傾けながら外します。

※ケトルは大変お熱くなっております。火傷予防の為耐熱手袋等を使用してください。

※ケトルを斜めにしないと、ギア部分の故障の原因となります。



①ケトルを斜めにします。



②上に持ち上げます。



③左に移動させ、外します。

3. 固く絞ったふきんでケトル内側を拭き、汚れを落としてください。

※ケトルは決して水洗いしないでください。



※もし汚れが落ちにくい場合、ケトルが完全に冷めてからコゲ落とし用のスポンジを使用してください。



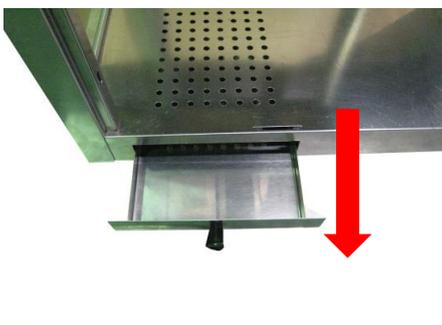
4. ドロップパネルと引き出し部を取り外し、蓋部分と共に中性洗剤を使用し洗浄してください。



①上に持ち上げる。



②斜めにし、ドロップパネル端の出っ張りを手前に外し、ドロップパネルを外す。



③引き出しは手前に引いて取り外す。

5. タオルをお湯で濡らし、マシン内部を拭き汚れを落としてください。

※天井を拭く際、電球部分にタオルが当たらないようご注意ください。破損する可能性があります。

※手前のアクリル扉は開けた状態で上にあげると取り外すことができます。

6. 全て洗浄し終わったら、しっかり乾かし元の位置に取り付けてください。

# 保証とアフターサービス

---

使い方、お手入れ、修理などは弊社(0479-82-0438)までお問い合わせください。

修理を依頼される場合：

保証書をご用意ください。保証書を提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。  
保証内容等については保証書裏面に記載されておりますので、ご確認ください。

弊社(0479-82-0438)へご連絡いただき、症状・故障内容をお伝えの上、保証修理をお申し付けください。  
これにより保証修理をいたします。

保証期間は機器納入日から1年間とします。

保証期間終了後は診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は下記の内容で構成されています。

- ・技術料：診断、修理、調整、点検などの費用
- ・出張費：技術者を派遣する費用
- ・部品代：修理に使用した部品代
- ・諸費用：補助材料代等

「取扱説明書」のなかでご不明な点や疑問点がございましたら、下記までご連絡ください。

## 有限会社 折 秋

〒289-1732千葉県山武郡横芝光町横芝1320

TEL:0479-82-0438

FAX:0479-82-0463

URL:<https://www.oriaki.co.jp>

MAIL:[info@oriaki.co.jp](mailto:info@oriaki.co.jp)